

1等米比率90%以上を達成しよう！！

## コシヒカリ1等を目指し 田植は5/15頃を中心に行いましょう！

- 育苗ハウスは、換気を十分に行い、がっちり苗に仕上げましょう。
- 基肥量は、土壌条件に応じて調整しましょう。
- 代かき後の雑草の発生が早くなっています。除草剤は遅れずに適正量を散布しましょう。

### 1. 硬化期の育苗管理

- 日中のハウス内温度は、25℃以下となるよう換気を徹底しましょう。  
(特に晴天日は、気温が低くてもハウス内温度は急激に上昇するので、早めに換気を始めましょう。)
- かん水は、床土の乾きに応じ、的確に行いましょう。(育苗培土の種類により乾き具合が異なるので注意しましょう。)
- 田植1週間前からは、夜間もハウスを開けましょう。

硬化時の温度が低いと、移植後の乾物増加量が大きい

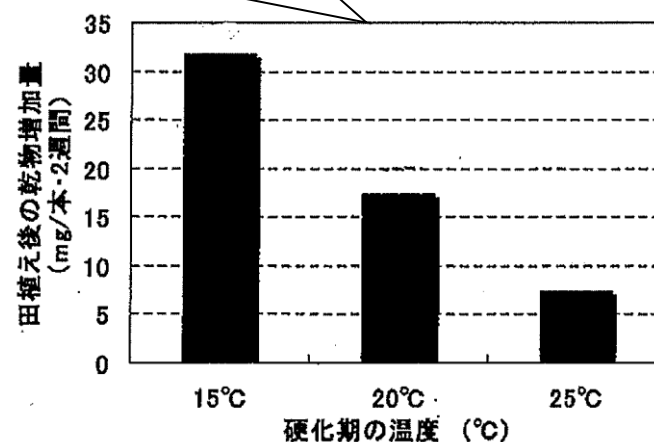


図 硬化時の温度と田植後の乾物増加量

### 2. 本田準備

- 雑草の発生を抑えるため、代かきは田植予定日の3～5日前に実施しましょう。
- 代かきは少なめの水で行い、稲わら等の埋没に努めましょう。また、濁り水は用水へ流さないでください。

### 3. 田植

- 栽植密度は70株/坪、植付本数は3～4本/株、植付深さは3cm程度(第1葉がみえる程度)としましょう。

#### 【基肥量】

- 基肥量は、土壌に応じた施肥基準を遵守しましょう。
- 田植機の施肥量は、メーカーやほ場の条件により異なります。田植前に肥料の落下量を確認・調整したのち、実際の田植作業でも落下量を確認しながら、必要に応じて再度調整しましょう。

#### <肥効調節（一発）体系>

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	LPss コシヒカリ 1号	35	30	25
	けい酸加里入りLPSS コシヒカリ	45	40	35
てんたかく	LPs 早生専用	45	43	40
てんこもり	LPss 晩生専用	45	43	40

#### <分施肥体系>

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	基肥 206	35	30	25
てんたかく		45	40	35
てんこもり		45	40	35

## 【育苗箱施薬】

○田植時に育苗箱施薬を行う場合は、規定量を散布しましょう。

使用農薬	散布量	施薬時期	対象病害虫	使用回数
エバーゴールド箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) ～移植当日	葉いもち、白葉枯病、紋枯病、イネミズゾウムシ、 イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ	1回

## 【除草剤の散布】

### <除草体系>

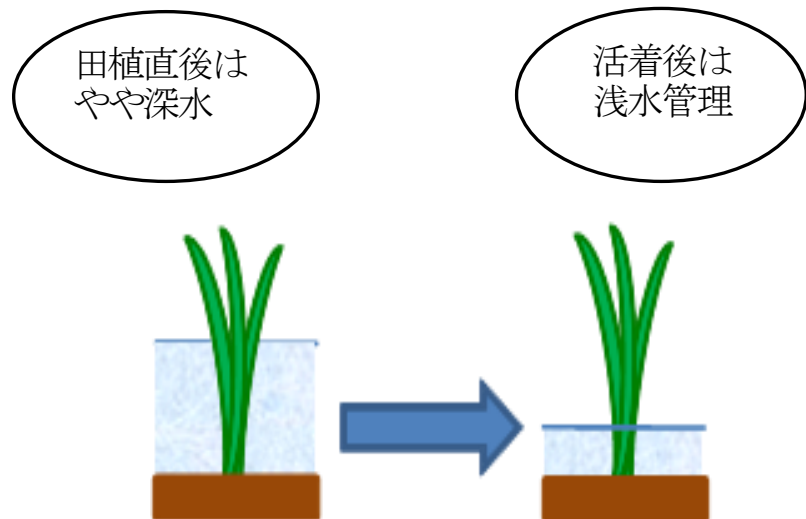
	田植	田植後日数														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
初・中期一発体系																
初期・中期一発体系																

雑草が残った場合は、中期剤・後期剤で対応

- 代かき後に気温が高いと、雑草の発生・生育が早まるので、遅れずに散布しましょう。
- 散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させないようにしましょう。
- 散布後7日間は、止水管理(落水やかけ流しをしない)とし、水田外への流亡を防ぎましょう。
- 田植同時散布機(こまきちゃん等)を使用する場合は、剤によって粒径や比重が異なり、散布量が変わるので、散布機の散布量調整を必ず行いましょう。

## 【水管理】

- 田植直後は、苗が水没しない程度のやや深水としましょう。
- 活着後は、初期生育の促進のため浅水管理とし、早朝入水・日中止水で田水温が高くなるように努めましょう。



## 平成31年 春の農作業安全運動

実施期間 4月1日～5月31日



「ヒヤリ」「ハッと」した  
経験を、農作業事故の未然  
防止に役立てましょう！

事故の未然防止対策(例)



事故の未然防止対策(例)

